

平成 24 年度秦野市 Web アンケート調査  
(第 3・4 回目)  
報告書

平成 24 年 11 月

秦野市



## 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計及び回収結果 .....	3
3 アンケートの調査項目 .....	3
4 調査結果をみる上での注意事項 .....	3
<b>II 調査結果（第3・4回目）</b> .....	<b>5</b>
1 属性 .....	6
（1）性別 .....	6
（2）年齢 .....	6
（3）居住地区 .....	6
2 「水道の利活用」について .....	7
（1）家族構成 .....	7
（2）世帯の水道使用量（2か月分） .....	8
（3）東日本大震災以前との使用水量の変化 .....	9
（4）使用水量が増加した理由 .....	10
（5）使用水量が減少した理由 .....	11
（6）秦野市の水道水の水質についてどう思うか .....	12
（7）秦野市の水道料金についてどう思うか .....	13
（8）水道管等の耐震化についてどう思うか .....	14
3 「秦野市の水道サービス」について .....	15
（9）秦野市水道局での公道や宅内の漏水等の対応についてどう思うか .....	15
（10）秦野市水道局お客様センターの対応についての満足度 .....	16
4 「特定健康診査の受診」について .....	17
（11）特定健康診査の受診状況 .....	17
（12）特定健診受診のきっかけ .....	18
（13）継続して受診しない理由 .....	19
（14）特定健康診査を受けていない理由 .....	20
（15）現在のご自身の健康状態をどう感じるか .....	21
5 「ごみの資源化」について .....	22
（16）ごみの資源化は焼却に比べてコストがかかることについて .....	22
（17）ペットボトルのキャップは取り外して分別しているか .....	23
（18）ペットボトルのラベルは取り外し資源物に分別できるか .....	24
（19）自分の出した粗大ごみが再使用されることについて .....	25
（20）レアメタル回収のため、小型家電を清掃事業所まで持ち込むことについて .....	26



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施する。

## 2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりである。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のネット調査会社の登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のネット調査会社の登録者約2800人
⑤ 抽出方法	全数
⑥ 調査方法	ネット調査（楽天リサーチ株式会社）
⑦ 調査期間	平成24年11月16日～11月21日
⑧ 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 3 アンケートの調査項目

「水道の利活用」、「秦野市の水道サービス」、「特定健康診査の受診」、「ごみの資源化」について調査項目を設定した。

## 4 調査結果をみる上での注意事項

- ① 回答はn（有効回収数）を基準とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。  
このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピューター入力の場合、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- ③ 属性については、属性集計部分では「60～64歳」、「65～74歳」、「75歳以上」で区分しているが、サンプル数が少ないため、クロス集計においては「60代以上」と区分している。

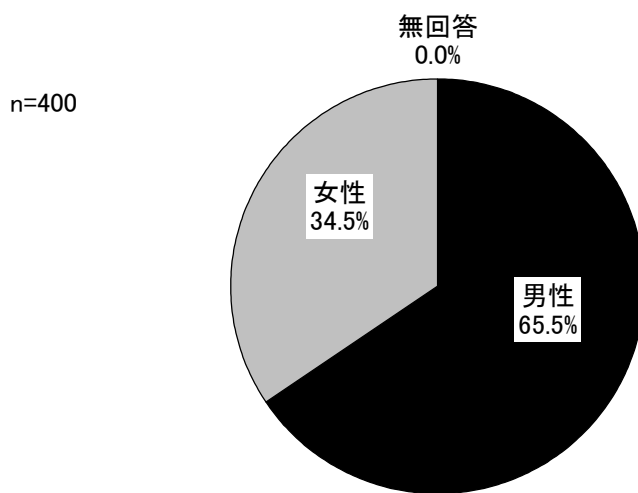




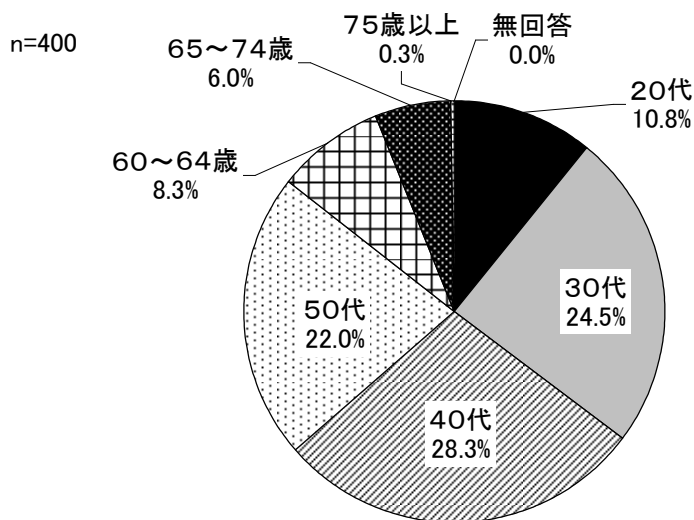
## Ⅱ 調査結果（第3・4回目）

# 1 属性

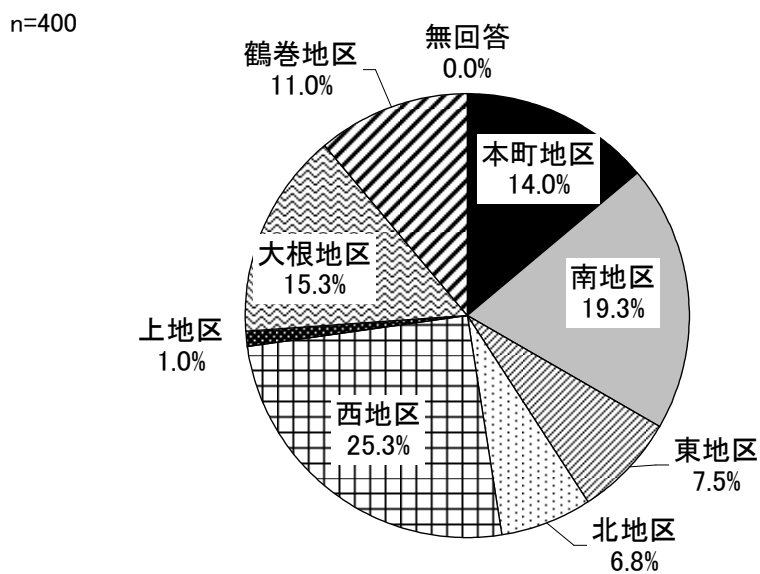
## (1) 性別



## (2) 年齢



## (3) 居住地区

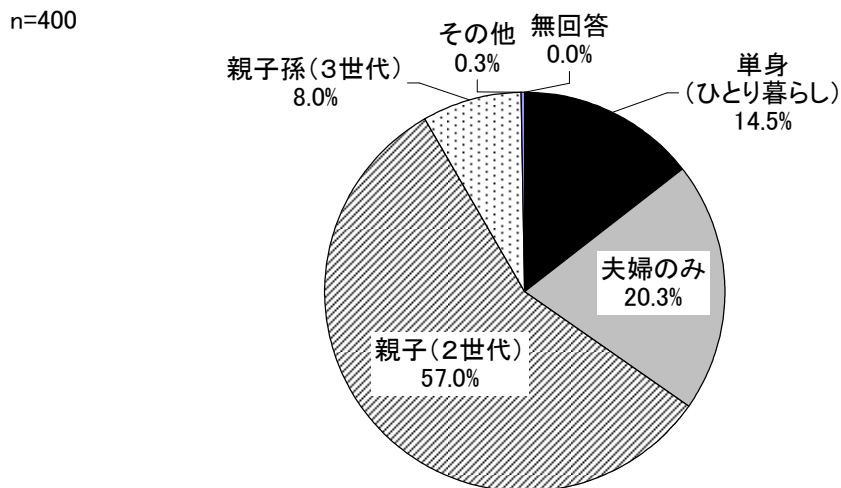


## 2 「水道の利用」について

### (1) 家族構成

家族構成については、「親子（2世代）」が57.0%と最も高く半数を超え、次いで「夫婦のみ」（20.3%）、「単身（ひとり暮らし）」（14.5%）の順となっている。

□ Q1 あなたの世帯の家族構成をお選びください。[SA]



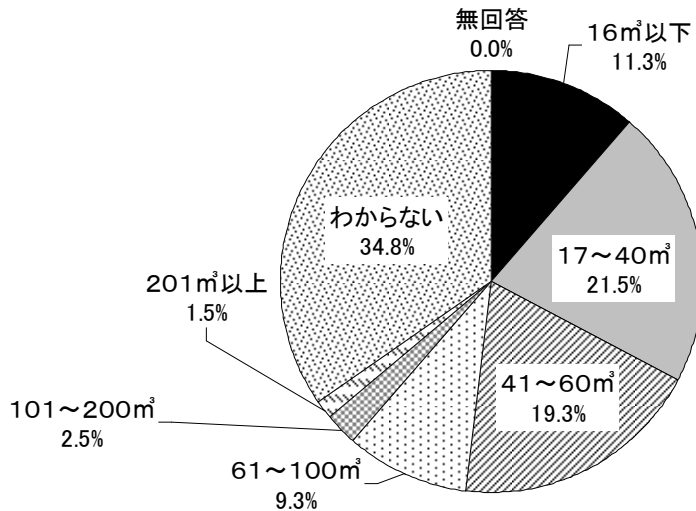
		家族構成					
		全体 (実数)	単身 (ひとり暮らし)	夫婦のみ	親子 (2世代)	親子孫 (3世代)	その他
全体 (%)		400	14.5	20.3	57.0	8.0	0.3
性別	男性	262	17.2	20.2	55.0	7.3	0.4
	女性	138	9.4	20.3	60.9	9.4	0.0
年代	20代	43	30.2	4.7	60.5	4.7	0.0
	30代	98	12.2	21.4	56.1	9.2	1.0
	40代	113	16.8	14.2	61.1	8.0	0.0
	50代	88	9.1	14.8	64.8	11.4	0.0
	60代以上	33	6.1	48.5	45.5	0.0	0.0
性別 × 年代	男性計	262	17.2	20.2	55.0	7.3	0.4
	20代	26	42.3	3.8	50.0	3.8	0.0
	30代	57	15.8	19.3	57.9	5.3	1.8
	40代	74	21.6	13.5	55.4	9.5	0.0
	50代	62	11.3	12.9	64.5	11.3	0.0
	60代以上	25	4.0	48.0	48.0	0.0	0.0
	女性計	138	9.4	20.3	60.9	9.4	0.0
	20代	17	11.8	5.9	76.5	5.9	0.0
	30代	41	7.3	24.4	53.7	14.6	0.0
	40代	39	7.7	15.4	71.8	5.1	0.0
50代	26	3.8	19.2	65.4	11.5	0.0	
60代以上	8	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	

## (2) 世帯の水道使用量(2か月分)

普段の水道使用量(2か月分)を問う設問では「17~40 m<sup>3</sup>」が21.5%と高く、次いで「41~60 m<sup>3</sup>」(19.3%)、「16 m<sup>3</sup>以下」(11.3%)の順となっている一方、使用量を把握していない人は全体の34.8%であった。

□ Q2. あなたの世帯の普段の水道使用量(2か月分)をお選びください。[SA]

n=400



性別では、大きな差はみられない。

年代別では、50代が「61~100 m<sup>3</sup>」(20.5%)、「41~60 m<sup>3</sup>」(20.5%)、60代が「17~40 m<sup>3</sup>」(39.4%)、「41~60 m<sup>3</sup>」(24.2%)で他の年代より高く、水道使用量が他の年代の世帯と比較すると多い傾向にある。

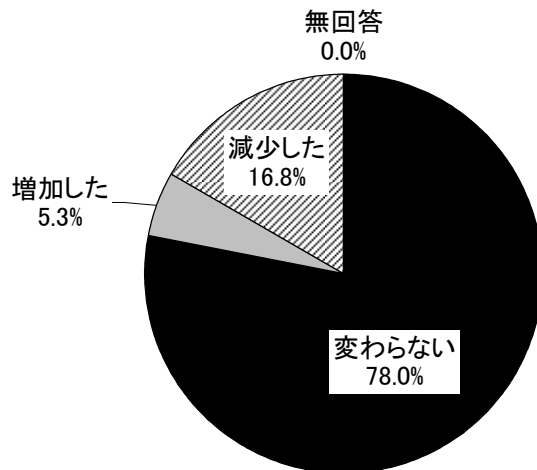
		世帯の普段の水道使用量(2か月分)							
		全体 (実数)	16m <sup>3</sup> 以下	17~40m <sup>3</sup>	41~60m <sup>3</sup>	61~100m <sup>3</sup>	101~200 m <sup>3</sup>	201m <sup>3</sup> 以上	わからない
全体		400	11.3	21.5	19.3	9.3	2.5	1.5	34.8
性別	男性	262	12.6	20.6	19.5	8.8	3.1	1.5	34.0
	女性	138	8.7	23.2	18.8	10.1	1.4	1.4	36.2
年代	20代	43	11.6	23.3	18.6	2.3	0.0	0.0	44.2
	30代	98	10.2	20.4	17.3	6.1	2.0	2.0	41.8
	40代	113	16.8	21.2	15.9	8.8	0.0	0.0	37.2
	50代	88	6.8	12.5	20.5	20.5	4.5	2.3	33.0
	60代以上	33	6.1	39.4	24.2	6.1	6.1	3.0	15.2
	男性計	262	12.6	20.6	19.5	8.8	3.1	1.5	34.0
性別 × 年代	20代	26	19.2	26.9	19.2	0.0	0.0	0.0	34.6
	30代	57	12.3	12.3	19.3	7.0	3.5	1.8	43.9
	40代	74	20.3	23.0	10.8	8.1	0.0	0.0	37.8
	50代	62	8.1	11.3	21.0	17.7	4.8	3.2	33.9
	60代以上	25	0.0	40.0	24.0	8.0	4.0	4.0	20.0
	女性計	138	8.7	23.2	18.8	10.1	1.4	1.4	36.2
	20代	17	0.0	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	58.8
	30代	41	7.3	31.7	14.6	4.9	0.0	2.4	39.0
	40代	39	10.3	17.9	25.6	10.3	0.0	0.0	35.9
	50代	26	3.8	15.4	19.2	26.9	3.8	0.0	30.8
60代以上	8	25.0	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	

### (3) 東日本大震災以前との使用水量の変化

東日本大震災以前との使用水量の変化を問う設問では、「変わらない」と回答した人が 78.0%と高く、次いで、「減少した」と回答した人は 16.8%、「増加した」と回答した人は 5.3%となっている。

□ Q3. あなたの世帯では、東日本大震災(平成 23 年 3 月 11 日)以前に比べて、使用水量に変化はありましたか。[SA]

n=400



性別大きな差はみられない。

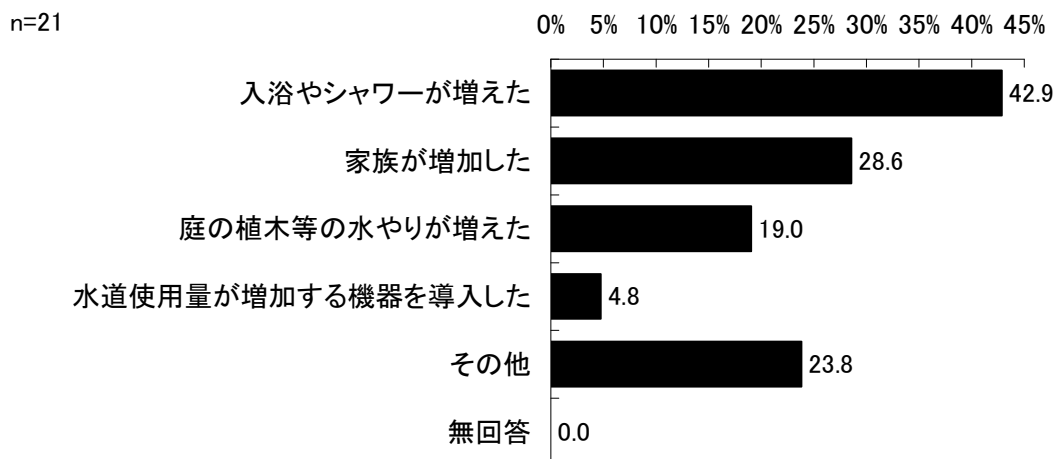
年代別では、「減少した」が 20 代 (20.9%)、50 代 (21.6%) で他の年代より若干高くなっている。

		東日本大震災以前との使用水量の変化				
		(%)	全体 (実数)	変わらない	増加した	減少した
全体			400	78.0	5.3	16.8
性別	男性		262	79.8	3.4	16.8
	女性		138	74.6	8.7	16.7
年代	20代		43	72.1	7.0	20.9
	30代		98	76.5	8.2	15.3
	40代		113	84.1	3.5	12.4
	50代		88	73.9	4.5	21.6
	60代以上		33	78.8	6.1	15.2
性別 × 年代	男性計		262	79.8	3.4	16.8
	20代		26	84.6	0.0	15.4
	30代		57	75.4	7.0	17.5
	40代		74	86.5	0.0	13.5
	50代		62	72.6	6.5	21.0
	60代以上		25	80.0	4.0	16.0
	女性計		138	74.6	8.7	16.7
	20代		17	52.9	17.6	29.4
	30代		41	78.0	9.8	12.2
	40代		39	79.5	10.3	10.3
50代		26	76.9	0.0	23.1	
60代以上		8	75.0	12.5	12.5	

#### (4) 使用水量が増加した理由

「東日本大震災以前と比較して使用水量が増加した」と回答した人に、増加した理由を問う設問では、「入浴やシャワーが増えた」と回答した人が 42.9%と高く、次いで、「家族が増加した」が 28.6%と高くなっている。

□ Q4. 使用水量が増加した理由と思われるものを次の中から当てはまるものを全てお選びください。【MA】



性別では、女性が「入浴やシャワーが増えた」で 50.0%と半数が回答している。

年代別では、「入浴やシャワーが増えた」が 30、40、50 代でそれぞれ 50.0%、40 代で「家族が増加した」が 50%、60 代で「庭の植木等の水やりが増えた」が 50.0%と高くなっている。(※サンプル数が少ないため、参考値とする)

		使用水量が増加した理由 (MA)					
		全体 (実数)	入浴やシャワー が増えた	家族が増加し た	庭の植木等の 水やりが増えた	水道使用量が増加する機器 を導入した	その他
全体 (%)		21	42.9	28.6	19.0	4.8	23.8
性別	男性	9	33.3	22.2	11.1	0.0	44.4
	女性	12	50.0	33.3	25.0	8.3	8.3
年代	20代	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	30代	8	50.0	37.5	25.0	0.0	25.0
	40代	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	50代	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	60代以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	男性計	9	33.3	22.2	11.1	0.0	44.4
性別 × 年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	4	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0
	40代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50代	4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	60代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女性計	12	50.0	33.3	25.0	8.3	8.3
	20代	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	30代	4	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	40代	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	50代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60代以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

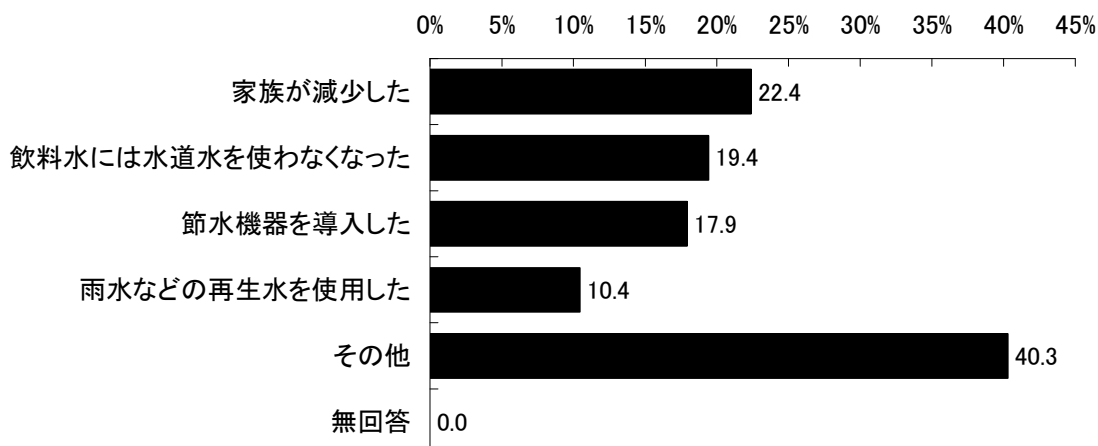
### (5) 使用水量が減少した理由

「東日本大震災以前と比較して使用水量が減少した」と回答した人に、減少した理由をたずねたところ、「家族が減少した」と回答した人が 22.4%と高く、次いで「飲料水には水道水を使わなくなった」が 19.4%となっている。

その他が 40.3%と高いが、その内容としては、「節水をしている」がその他の中で9割近くを占めている。

□ Q5. 使用水量が減少した理由と思われるものを次の中から当てはまるものを全てお選びください。【MA】

n=67



性別では、「節水器を購入した」で男性が 20.5%と女性（13.0%）よりやや高くなっている。

年代別では、「家族が減少した」が 20代で 44.4%、「飲料水には水道水を使わなくなった」が 20代で 33.3%、60代で 40.0%、「節水機器を導入した」が 60代で 40.0%と他の年代より高くなっている。また、その他については 30代（53.3%）、40代（64.3%）が高くなっている。（※サンプル数が少ないため、参考値とする）

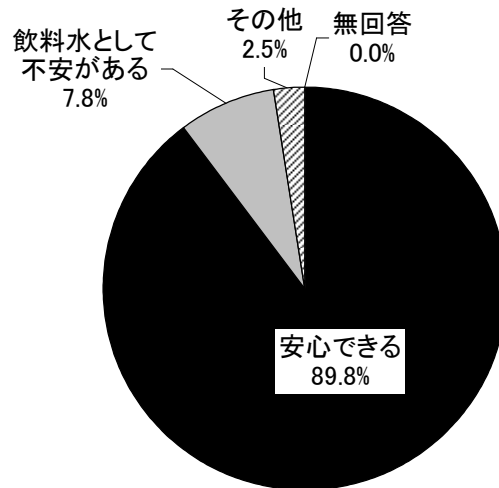
		使用水量が減少した理由(MA)					
		全体 (実数)	家族が減少した	飲料水には水道水を使わなくなった	節水機器を導入した	雨水などの再生水を使用した	その他
全体 (%)		67	22.4	19.4	17.9	10.4	40.3
性別	男性	44	22.7	20.5	20.5	9.1	38.6
	女性	23	21.7	17.4	13.0	13.0	43.5
年代	20代	9	44.4	33.3	22.2	0.0	11.1
	30代	15	20.0	20.0	6.7	6.7	53.3
	40代	14	0.0	14.3	14.3	21.4	64.3
	50代	19	31.6	15.8	21.1	5.3	31.6
	60代以上	5	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0
性別 × 年代	男性計	44	22.7	20.5	20.5	9.1	38.6
	20代	4	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	30代	10	20.0	10.0	10.0	0.0	60.0
	40代	10	0.0	20.0	10.0	20.0	60.0
	50代	13	30.8	23.1	23.1	0.0	30.8
	60代以上	4	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0
	女性計	23	21.7	17.4	13.0	13.0	43.5
	20代	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	30代	5	20.0	40.0	0.0	20.0	40.0
	40代	4	0.0	0.0	25.0	25.0	75.0
50代	6	33.3	0.0	16.7	16.7	33.3	
60代以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

**(6) 秦野市の水道水の水質についてどう思うか**

秦野市の水道水の水質についてどう思うかをたずねたところ、「安心できる」(89.8%)と全体の9割近くを占めている。「飲料水として不安がある」と回答した人は(7.8%)であった。

□ Q6. あなたは秦野市の水道水の水質について、どのように思われますか。[SA]

n=400



性別・年代別では、傾向は見られなかった。

		秦野市の水道水の水質についてどう思うか			
		全体 (実数)	安心できる	飲料水として不安がある	その他
全体 (%)		400	89.8	7.8	2.5
性別	男性	262	88.9	7.6	3.4
	女性	138	91.3	8.0	0.7
年代	20代	43	90.7	4.7	4.7
	30代	98	86.7	9.2	4.1
	40代	113	88.5	8.8	2.7
	50代	88	92.0	6.8	1.1
	60代以上	33	87.9	12.1	0.0
性別 × 年代	男性計	262	88.9	7.6	3.4
	20代	26	84.6	7.7	7.7
	30代	57	87.7	7.0	5.3
	40代	74	87.8	8.1	4.1
	50代	62	90.3	8.1	1.6
	60代以上	25	88.0	12.0	0.0
	女性計	138	91.3	8.0	0.7
	20代	17	100.0	0.0	0.0
	30代	41	85.4	12.2	2.4
	40代	39	89.7	10.3	0.0
50代	26	96.2	3.8	0.0	
60代以上	8	87.5	12.5	0.0	

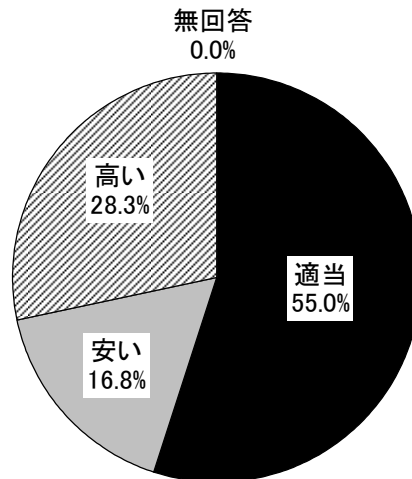


**(7) 秦野市の水道料金についてどう思うか**

秦野市の水道料金についてどう思うかをたずねたところ、「適当」(55.0%)が全体の半数を超えている。次いで「高い」が28.3%となっている。

□ Q7. あなたは秦野市の水道料金についてどのように思われますか。[SA]

n=400



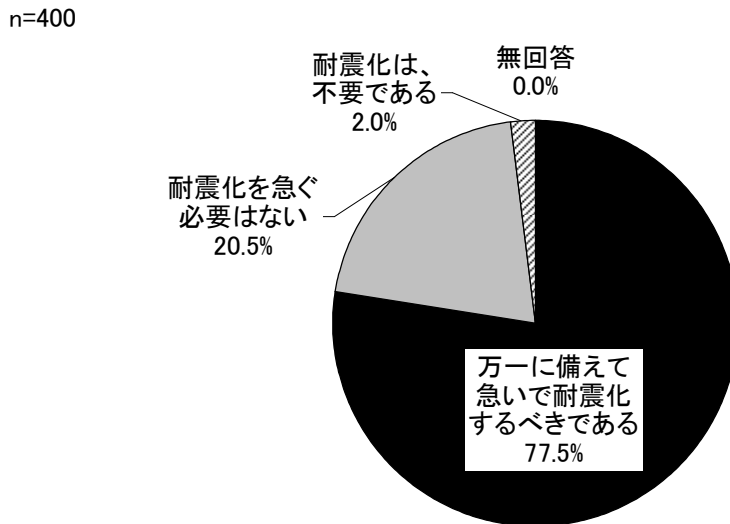
性別では、「安い」が男性で19.1%とやや女性より高くなっている。  
年代別でみると、60代で「適当」が39.4%と低く、45.5%が「高い」と回答している。  
また、50代も「高い」が35.2%と若年層より高くなっている。

		秦野市の水道料金についてどう思うか				
		全体 (実数)	適当	安い	高い	
全体		400	55.0	16.8	28.3	
性別	男性	262	53.4	19.1	27.5	
	女性	138	58.0	12.3	29.7	
年代	20代	43	65.1	11.6	23.3	
	30代	98	53.1	20.4	26.5	
	40代	113	55.8	22.1	22.1	
	50代	88	53.4	11.4	35.2	
	60代以上	33	39.4	15.2	45.5	
	男性計	262	53.4	19.1	27.5	
性別 × 年代	男性計	20代	26	50.0	15.4	34.6
		30代	57	49.1	28.1	22.8
		40代	74	54.1	23.0	23.0
		50代	62	58.1	14.5	27.4
		60代以上	25	36.0	12.0	52.0
	女性計	20代	17	88.2	5.9	5.9
		30代	41	58.5	9.8	31.7
		40代	39	59.0	20.5	20.5
		50代	26	42.3	3.8	53.8
		60代以上	8	50.0	25.0	25.0

### (8) 水道管等の耐震化についてどう思うか

水道管等の耐震化についてどう思うかをたずねたところ、「万一に備えて急いで耐震化するべきである」が77.5%で最も高く、次いで「耐震化を急ぐ必要はない」で20.5%となっている。

□ Q8. 水道管等の耐震化についてどのように思われますか。[SA]



性別では、「万一に備えて急いで耐震化するべきである」で女性が84.8%と男性より10ポイント以上高くなっている。また、「耐震化を急ぐ必要はない」は男性で24.0%と女性より10ポイント以上高くなっている。

年代別に見ると、「万一に備えて急いで耐震化するべきである」では、60代が90.9%と高く、次いで、20代が81.4%と高くなっている。

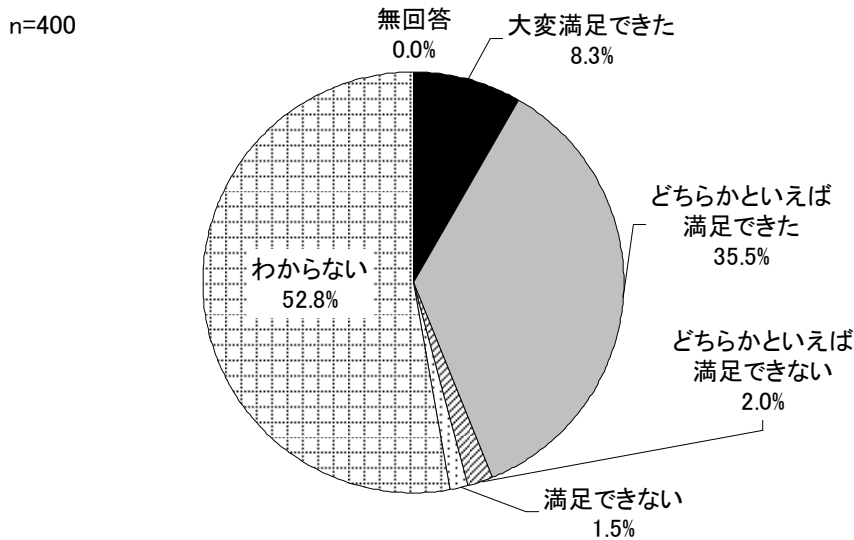
		水道管等の耐震化についてどう思うか				
		全体 (実数)	万一に備えて急いで耐震化するべきである	耐震化を急ぐ必要はない	耐震化は、不要である	
全体 (%)		400	77.5	20.5	2.0	
性別	男性	262	73.7	24.0	2.3	
	女性	138	84.8	13.8	1.4	
年代	20代	43	81.4	16.3	2.3	
	30代	98	72.4	24.5	3.1	
	40代	113	76.1	22.1	1.8	
	50代	88	78.4	19.3	2.3	
	60代以上	33	90.9	9.1	0.0	
	男性計	262	73.7	24.0	2.3	
性別 × 年代	男性計	20代	26	76.9	23.1	0.0
		30代	57	68.4	26.3	5.3
		40代	74	68.9	28.4	2.7
		50代	62	75.8	22.6	1.6
		60代以上	25	88.0	12.0	0.0
	女性計	20代	17	88.2	5.9	5.9
		30代	41	78.0	22.0	0.0
		40代	39	89.7	10.3	0.0
		50代	26	84.6	11.5	3.8
		60代以上	8	100.0	0.0	0.0

### 3 「秦野市の水道サービス」について

#### (9) 秦野市水道局での公道や宅内の漏水等の対応についてどう思うか

秦野市水道局での公道や宅内の漏水等の対応についてどう思うかをたずねたところ、「わからない」が52.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足できた」(35.5%)、「大変満足できた」(8.3%)となっている。

□ Q9. 秦野市水道局での公道や宅内の漏水等の対応について、どのように思われますか。[SA]



性別では、傾向は見られなかった。

年代別では、「大変満足できた」が若年層ほど高くなっている。

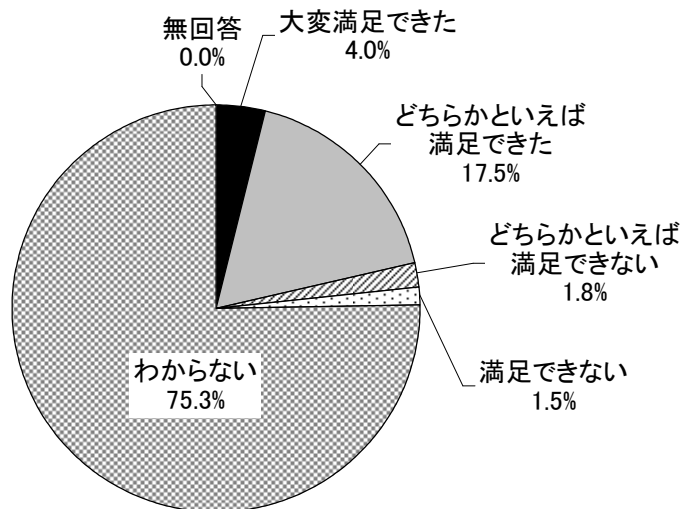
		秦野市水道局での公道や宅内の漏水等の対応についてどう思うか						
		(%)	全体 (実数)	大変満足できた	どちらかといえ ば満足できた	どちらかといえ ば満足できな い	満足できない	わからない
全体			400	8.3	35.5	2.0	1.5	52.8
性別	男性		262	9.9	35.9	1.9	1.1	51.1
	女性		138	5.1	34.8	2.2	2.2	55.8
年代	20代		43	11.6	32.6	4.7	0.0	51.2
	30代		98	9.2	33.7	2.0	2.0	53.1
	40代		113	8.0	36.3	0.9	0.9	54.0
	50代		88	8.0	34.1	1.1	3.4	53.4
	60代以上		33	3.0	36.4	6.1	0.0	54.5
	男性計		262	9.9	35.9	1.9	1.1	51.1
性別 × 年代	男性計	20代	26	15.4	23.1	3.8	0.0	57.7
		30代	57	10.5	33.3	1.8	1.8	52.6
		40代	74	9.5	39.2	1.4	1.4	48.6
		50代	62	11.3	35.5	0.0	1.6	51.6
		60代以上	25	4.0	36.0	8.0	0.0	52.0
	女性計	138	5.1	34.8	2.2	2.2	55.8	
	女性計	20代	17	5.9	47.1	5.9	0.0	41.2
30代		41	7.3	34.1	2.4	2.4	53.7	
40代		39	5.1	30.8	0.0	0.0	64.1	
50代		26	0.0	30.8	3.8	7.7	57.7	
60代以上		8	0.0	37.5	0.0	0.0	62.5	

(10) 秦野市水道局お客様センターの対応についての満足度

秦野市水道局お客様センターの対応についての満足度についてたずねたところ、「わからない」が75.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足できた」(17.5%)、「大変満足できた」(4.0%)の順となっている。

□ Q10. 秦野市水道局お客様センターでの料金の問い合わせなどの対応について、どのように思われますか。[SA]

n=400



性別では、傾向は見られなかった。

年代別では、「どちらかといえば満足できた」が若年層ほど高くなっている。高齢層ほど「わからない」が高くなっている。

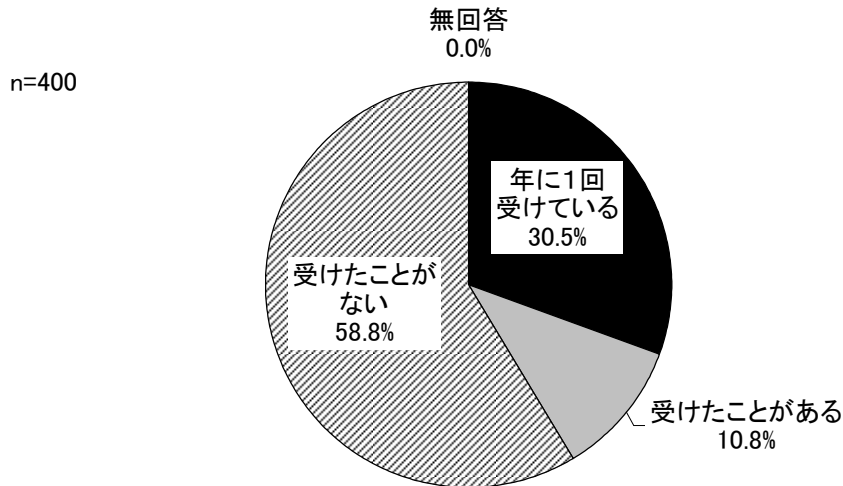
		秦野市水道局お客様センターの対応についての満足度					
		全体 (実数)	大変満足できた	どちらかといえ ば満足できた	どちらかといえ ば満足できな い	満足できない	わからない
全体		400	4.0	17.5	1.8	1.5	75.3
性別	男性	262	4.6	17.2	1.9	0.8	75.6
	女性	138	2.9	18.1	1.4	2.9	74.6
年代	20代	43	9.3	18.6	0.0	2.3	69.8
	30代	98	2.0	18.4	4.1	2.0	73.5
	40代	113	5.3	15.9	0.9	1.8	76.1
	50代	88	1.1	17.0	1.1	1.1	79.5
	60代以上	33	3.0	6.1	3.0	0.0	87.9
	男性計	262	4.6	17.2	1.9	0.8	75.6
性別 × 年代	20代	26	11.5	15.4	0.0	0.0	73.1
	30代	57	1.8	17.5	3.5	1.8	75.4
	40代	74	6.8	17.6	1.4	1.4	73.0
	50代	62	1.6	14.5	1.6	0.0	82.3
	60代以上	25	4.0	8.0	4.0	0.0	84.0
	女性計	138	2.9	18.1	1.4	2.9	74.6
	20代	17	5.9	23.5	0.0	5.9	64.7
	30代	41	2.4	19.5	4.9	2.4	70.7
	40代	39	2.6	12.8	0.0	2.6	82.1
	50代	26	0.0	23.1	0.0	3.8	73.1
60代以上	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

## 4 「特定健康診査の受診」について

### (11) 特定健康診査の受診状況

特定健康診査の受診状況についてたずねたところ、「受けたことがない」が58.8%と最も高く、次いで「年に1回受けている」(30.5%)、「受けたことがある」(10.8%)の順となっている。

□ Q11. あなたは、特定健康診査を受けていますか。[SA]



性別では、「年に1回受けている」で女性が22.5%と男性より10ポイント以上低くなっている。

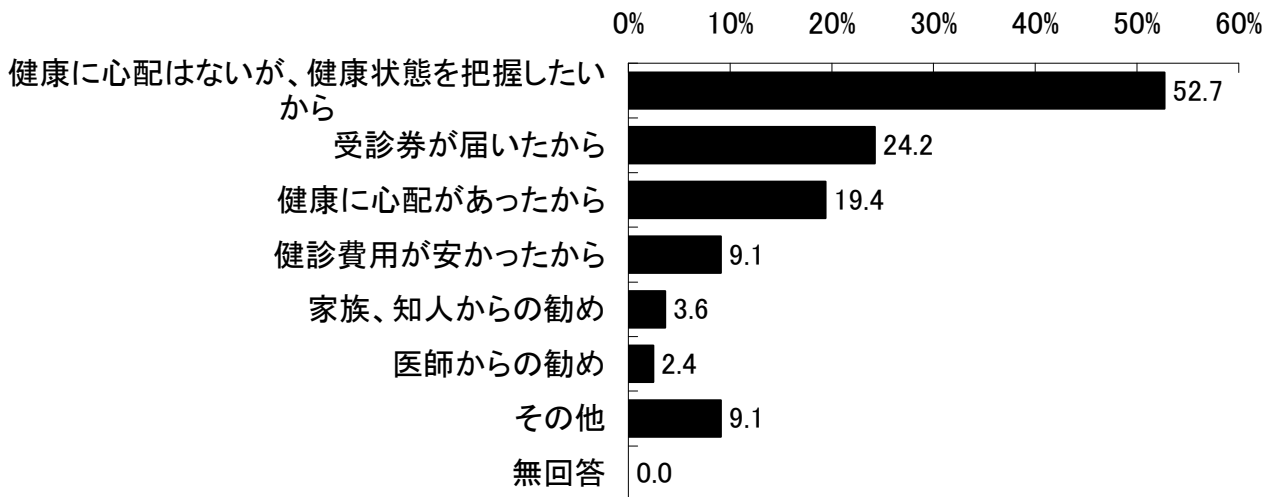
		特定健康診査の受診状況			
		全体 (実数)	年に1回受けてい る	受けたことがある	受けたことがない
全体 (%)		400	30.5	10.8	58.8
性別	男性	262	34.7	7.6	57.6
	女性	138	22.5	16.7	60.9
年代	20代	43	4.7	0.0	95.3
	30代	98	12.2	9.2	78.6
	40代	113	39.8	13.3	46.9
	50代	88	42.0	10.2	47.7
	60代以上	33	39.4	15.2	45.5
性別 × 年代	男性計	262	34.7	7.6	57.6
	20代	26	7.7	0.0	92.3
	30代	57	8.8	8.8	82.5
	40代	74	44.6	6.8	48.6
	50代	62	45.2	4.8	50.0
	60代以上	25	48.0	16.0	36.0
	女性計	138	22.5	16.7	60.9
	20代	17	0.0	0.0	100.0
	30代	41	17.1	9.8	73.2
	40代	39	30.8	25.6	43.6
50代	26	34.6	23.1	42.3	
60代以上	8	12.5	12.5	75.0	

**(12) 特定健診受診のきっかけ**

特定健診受診のきっかけについてたずねたところ、「健康に心配はないが、健康状態を把握したいから」が52.7%と最も高く、次いで「受診券が届いたから」(24.2%)、「健康に心配があったから」(19.4%)の順となっている。

□ Q12. 特定健診を受けようと思ったきっかけはなんですか。該当する理由を2つまで選んでください。[2LA]

n=165



性別では、「受診券が届いたから」が女性で35.2%と男性より10ポイント以上高くなっている。年代別では、「健康に心配はないが、健康状態を把握したいから」が50代で37.0%と他の年代より低く、60代では61.1%と高くなっている。「健康に心配があったから」が60代で5.6%と低くなっている。

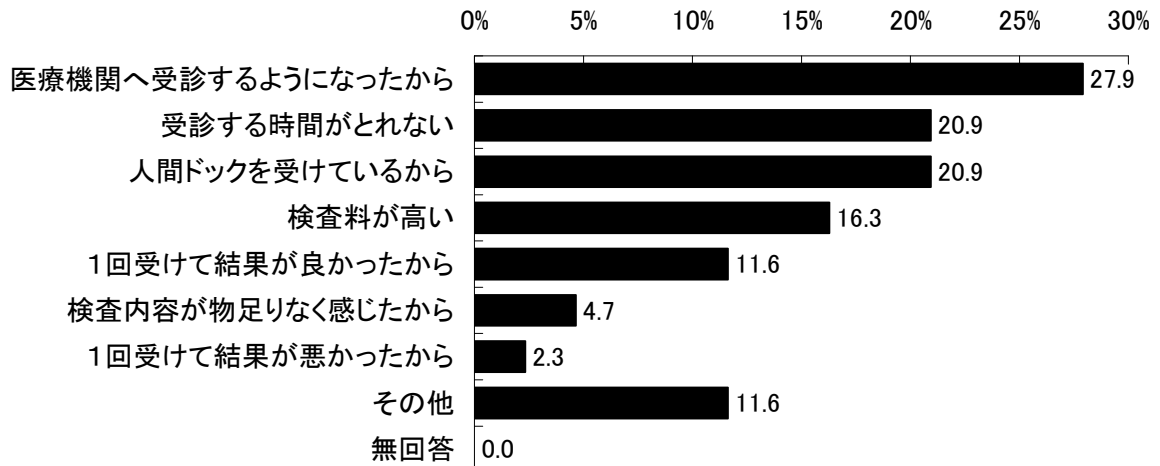
		特定健診受診のきっかけ(2LA)								
		全体 (実数)	健康に心配はないが、健康状態を把握したいから	受診券が届いたから	健康に心配があったから	健診費用が安かったから	家族、知人からの勧め	医師からの勧め	その他	
		(%)								
全体		165	52.7	24.2	19.4	9.1	3.6	2.4	9.1	
性別	男性	111	50.5	18.9	20.7	7.2	2.7	1.8	13.5	
	女性	54	57.4	35.2	16.7	13.0	5.6	3.7	0.0	
年代	20代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	30代	21	52.4	14.3	23.8	14.3	9.5	4.8	0.0	
	40代	60	56.7	30.0	15.0	6.7	1.7	3.3	6.7	
	50代	46	37.0	17.4	26.1	8.7	6.5	2.2	17.4	
	60代以上	18	61.1	22.2	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	
	男性計	111	50.5	18.9	20.7	7.2	2.7	1.8	13.5	
性別×年代	男性計	20代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
		30代	10	40.0	10.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0
		40代	38	55.3	21.1	15.8	5.3	0.0	2.6	10.5
		50代	31	32.3	6.5	29.0	12.9	6.5	3.2	25.8
		60代以上	16	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8
		女性計	54	57.4	35.2	16.7	13.0	5.6	3.7	0.0
	女性計	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30代	11	63.6	18.2	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0
		40代	22	59.1	45.5	13.6	9.1	4.5	4.5	0.0
		50代	15	46.7	40.0	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0
		60代以上	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(13) 継続して受診しない理由

継続して受診しない理由についてたずねたところ、「医療機関へ受診するようになったから」が27.9%と最も高く、次いで「受診する時間がとれない」「人間ドックをうけているから」(20.9%)の順となっている。

□ Q13. 継続して受診しない理由は何ですか。該当する理由を2つまで選んでください。 [2LA]

n=43



性別では、「検査料が高い」が女性で21.7%と男性より10ポイント以上高くなっている。

年代別では、「医療機関へ受診するようになった」が高年齢層ほど高くなっている。「人間ドックを受けているから」が60代で40.0%と他の年代と比較すると高くなっている。

(※サンプル数が少ないため、参考値とする)

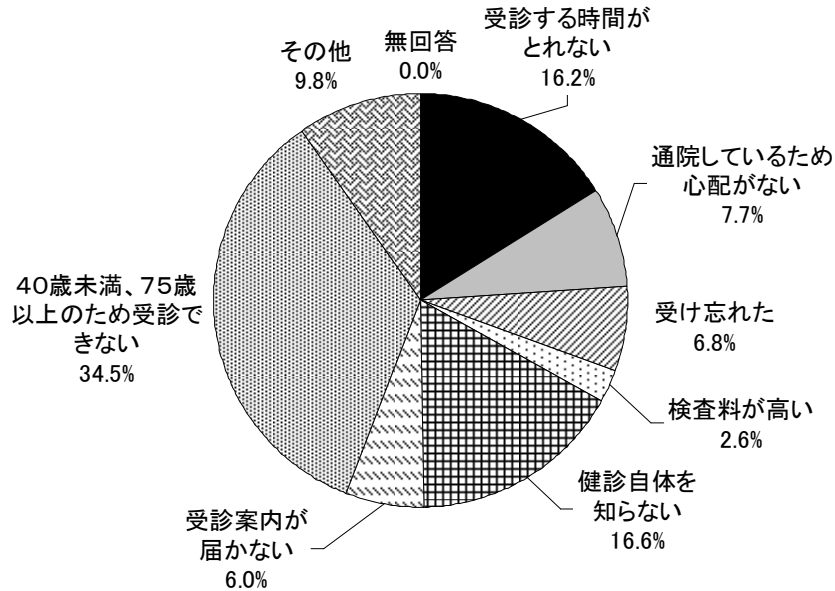
		継続して受診しない理由(2LA)								
		全体 (実数)	医療機関 へ受診す るようにな ったから	受診する 時間がと れない	人間ドッ クを受け ているか ら	検査料が 高い	1回受け て結果が 良かった から	検査内容 が物足り なく感じ たから	1回受け て結果が 悪かった から	その他
		(%)								
全体		43	27.9	20.9	20.9	16.3	11.6	4.7	2.3	11.6
性別	男性	20	30.0	20.0	20.0	10.0	15.0	10.0	0.0	10.0
	女性	23	26.1	21.7	21.7	21.7	8.7	0.0	4.3	13.0
年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	9	11.1	33.3	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0
	40代	15	20.0	26.7	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0	13.3
	50代	9	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1
	60代以上	5	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	男性計	20	30.0	20.0	20.0	10.0	15.0	10.0	0.0	10.0
性別 × 年代	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	40代	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	50代	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	60代以上	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	女性計	23	26.1	21.7	21.7	21.7	8.7	0.0	4.3	13.0
	20代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	4	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	40代	10	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0
	50代	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
60代以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

**(14) 特定健康診査を受けていない理由**

特定健康診査を受けていない理由についてたずねたところ、「40歳未満、75歳以上のため受診できない」が34.5%と最も高く、次いで「健診自体を知らない」(16.6%)、「受診する時間がとれない」(16.2%)の順となっている。

□ Q14. 特定健康診査を受けていない理由は何ですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。[SA]

n=235



性別では、「健診自体を知らない」が男性で21.9%と女性より10ポイント以上高くなっている。年代別では、「受診する時間が取れない」が40代で41.5%と高く、「通院しているため心配がない」が60代で46.7%と高くなっている。

		特定健康診査を受けていない理由								
		全体 (実数)	受診する 時間がと れない	通院してい るため心 配がない	受け忘れ た	検査料が 高い	健診自体 を知らない	受診案内 が届か ない	40歳未 満、75歳 以上のた め受診で きない	その他
	(%)									
	全体	235	16.2	7.7	6.8	2.6	16.6	6.0	34.5	9.8
性別	男性	151	13.9	6.6	6.0	1.3	21.9	7.3	32.5	10.6
	女性	84	20.2	9.5	8.3	4.8	7.1	3.6	38.1	8.3
年代	20代	41	14.6	2.4	0.0	4.9	12.2	4.9	58.5	2.4
	30代	77	2.6	0.0	1.3	2.6	18.2	0.0	74.0	1.3
	40代	53	41.5	1.9	11.3	3.8	18.9	9.4	0.0	13.2
	50代	42	16.7	16.7	14.3	0.0	19.0	11.9	0.0	21.4
	60代以上	15	0.0	46.7	13.3	0.0	13.3	13.3	0.0	13.3
	男性計	151	13.9	6.6	6.0	1.3	21.9	7.3	32.5	10.6
性別 × 年代	20代	24	16.7	4.2	0.0	0.0	16.7	4.2	54.2	4.2
	30代	47	0.0	0.0	0.0	2.1	21.3	0.0	76.6	0.0
	40代	36	33.3	2.8	8.3	2.8	27.8	11.1	0.0	13.9
	50代	31	12.9	16.1	12.9	0.0	22.6	12.9	0.0	22.6
	60代以上	9	0.0	33.3	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1
	女性計	84	20.2	9.5	8.3	4.8	7.1	3.6	38.1	8.3
	20代	17	11.8	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	64.7	0.0
	30代	30	6.7	0.0	3.3	3.3	13.3	0.0	70.0	3.3
	40代	17	58.8	0.0	17.6	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8
	50代	11	27.3	18.2	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2
60代以上	6	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	

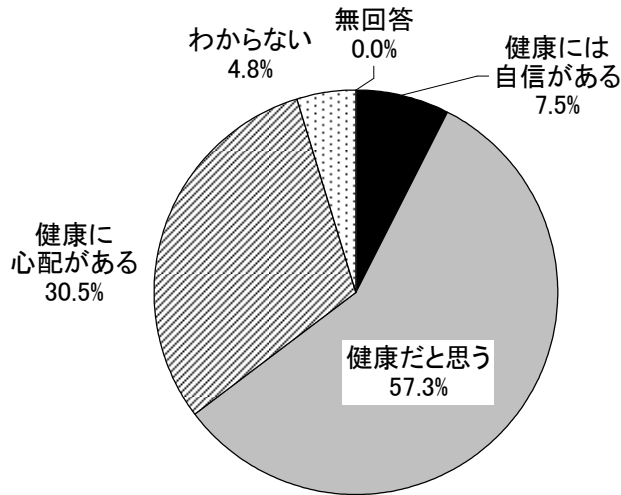


**(15) 現在のご自身の健康状態をどう感じるか**

現在のご自身の健康状態をどう感じるかをたずねたところ、「健康だと思う」が57.3%と最も高く、次いで「健康に心配がある」(30.5%)、「健康には自信がある」(7.5%)の順となっている。

□ Q15. 現在のご自身の健康状態はどう感じますか。【SA】

n=400



性別では、傾向は見られなかった。

年代別では、「健康には自信がある」が若年層ほど高い傾向にある。「健康だと思う」が60代では69.7%と高く、20代では41.9%と他の年代より低い。また、「健康に心配がある」では20代(34.9%)、50代(35.2%)が他の年代よりやや高くなっている。

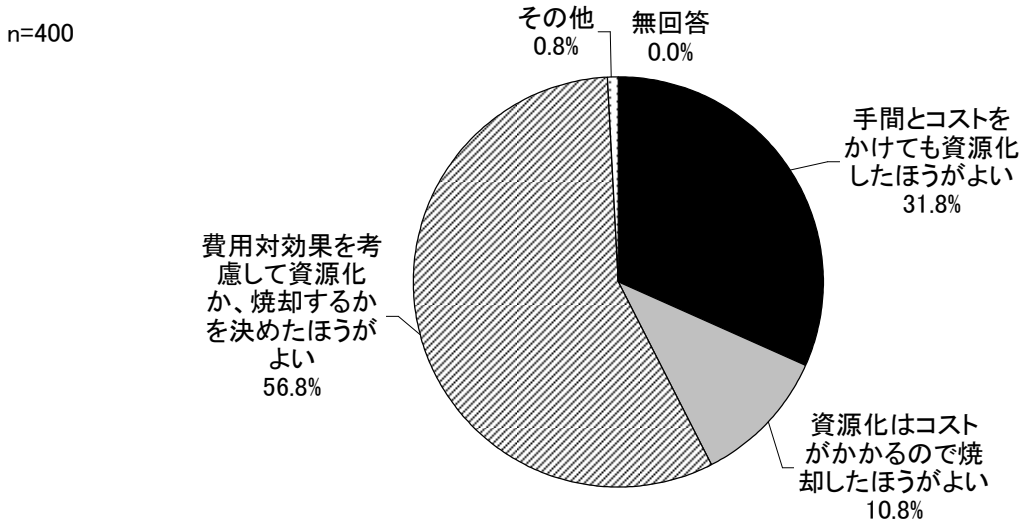
		現在のご自身の健康状態をどう感じるか					
		(%)	全体 (実数)	健康には自 信がある	健康だと思 う	健康に心配 がある	わからない
全体			400	7.5	57.3	30.5	4.8
性別	男性		262	8.8	55.3	30.5	5.3
	女性		138	5.1	60.9	30.4	3.6
年代	20代		43	14.0	41.9	34.9	9.3
	30代		98	10.2	59.2	26.5	4.1
	40代		113	3.5	63.7	28.3	4.4
	50代		88	6.8	53.4	35.2	4.5
	60代以上		33	3.0	69.7	24.2	3.0
	男性計		262	8.8	55.3	30.5	5.3
性別 × 年代	20代		26	19.2	42.3	26.9	11.5
	30代		57	12.3	52.6	29.8	5.3
	40代		74	5.4	58.1	29.7	6.8
	50代		62	4.8	56.5	35.5	3.2
	60代以上		25	4.0	68.0	24.0	4.0
	女性計		138	5.1	60.9	30.4	3.6
	20代		17	5.9	41.2	47.1	5.9
	30代		41	7.3	68.3	22.0	2.4
	40代		39	0.0	74.4	25.6	0.0
	50代		26	11.5	46.2	34.6	7.7
60代以上		8	0.0	75.0	25.0	0.0	

## 5 「ごみの資源化」について

### (16) ごみの資源化は焼却に比べてコストがかかることについて

ごみの資源化は焼却に比べてコストがかかることについてたずねたところ、「費用対効果を考慮して資源化か、焼却するかを決めたほうがよい」が56.8%と最も高く、次いで「手間とコストをかけても資源化したほうがよい」(31.8%)の順となっている。

□ Q16. ごみの資源化の是非について伺います。ごみを資源にするためには、焼却に比べて多くの工程とコストがかかります。このことについて、どう思いますか。 [SA]



性別では、「費用対効果を考慮して資源化か、焼却するかを決めたほうがよい」が女性で62.3%と男性より約8ポイント高くなっている。

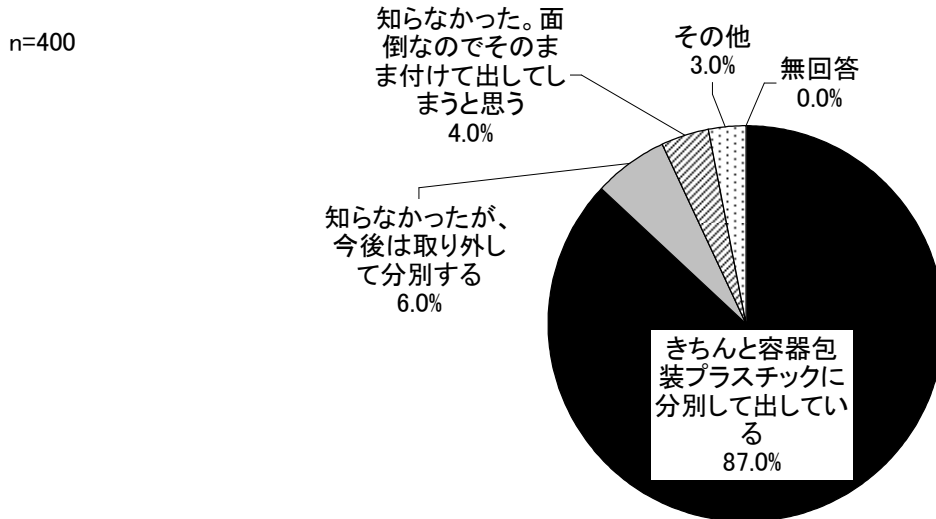
年代別では、「費用対効果を考慮して資源化か、焼却するかを決めたほうがよい」が60代で75.8%と高く、「資源化はコストがかかるので焼却したほうがよい」は20代が20.9%と他の年代より高くなっている。

		ごみの資源化は焼却に比べてコストがかかることについて				
		全体 (実数)	手間とコストを かけても資源化した ほうがよい	資源化はコストが かかるので焼却し たほうがよい	費用対効果を考 慮して資源化か、 焼却するかを決め たほうがよい	その他
		(%)				
全体		400	31.8	10.8	56.8	0.8
性別	男性	262	33.6	11.5	53.8	1.1
	女性	138	28.3	9.4	62.3	0.0
年代	20代	43	30.2	20.9	48.8	0.0
	30代	98	28.6	13.3	58.2	0.0
	40代	113	39.8	8.8	51.3	0.0
	50代	88	31.8	11.4	53.4	3.4
	60代以上	33	21.2	3.0	75.8	0.0
	男性計	262	33.6	11.5	53.8	1.1
性別 × 年代	20代	26	30.8	19.2	50.0	0.0
	30代	57	29.8	17.5	52.6	0.0
	40代	74	44.6	10.8	44.6	0.0
	50代	62	33.9	9.7	51.6	4.8
	60代以上	25	20.0	4.0	76.0	0.0
	女性計	138	28.3	9.4	62.3	0.0
	20代	17	29.4	23.5	47.1	0.0
	30代	41	26.8	7.3	65.9	0.0
	40代	39	30.8	5.1	64.1	0.0
	50代	26	26.9	15.4	57.7	0.0
60代以上	8	25.0	0.0	75.0	0.0	

**(17) ペットボトルのキャップは取り外して分別しているか**

ペットボトルのキャップは取り外して分別しているかをたずねたところ、「きちんと容器包装プラスチックに分別して出している」が 87.0%と最も高く8割を超えている。次いで、「知らなかったが、今後は取り外して分別する」(6.0%)、「知らなかった。面倒なのでそのまま付けて出してしまうと思う」(4.0%)の順で、1割が認知していなかった。

□ Q17. ペットボトルの出し方について伺います。ペットボトルのキャップは取り外して容器包装プラスチックに分別することとなります。分別されていますか。【SA】



性別では、傾向は見られなかった。

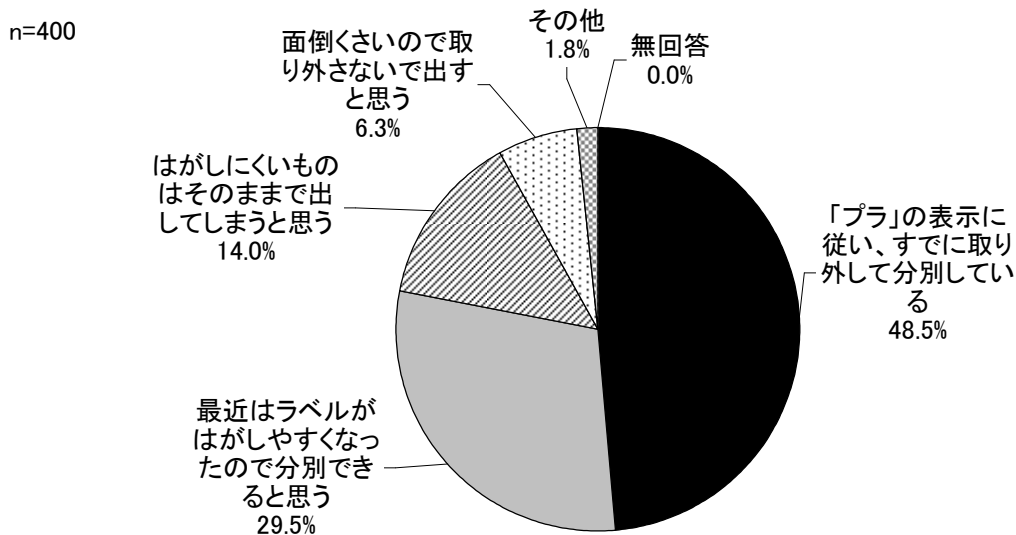
年代別では、20代で「きちんと容器包装プラスチックに分別して出している」が67.4%と他の年代より低くなっている。また、20代では「知らなかったが、今後は取り外して分別する」(11.6%)、「知らなかった。面倒なのでそのまま付けて出してしまうと思う」(11.6%)が他の年代より高く、20代に未認知者が多い傾向にある。

		ペットボトルのキャップは取り外して分別しているか					
		全体 (実数)	きちんと容器包装 プラスチックに分 別して出している	知らなかったが、 今後は取り外して 分別する	知らなかった。面 倒なのでそのまま 付けて出してしまう と思う	その他	
全体 (%)		400	87.0	6.0	4.0	3.0	
性別	男性	262	87.0	6.9	4.2	1.9	
	女性	138	87.0	4.3	3.6	5.1	
年代	20代	43	67.4	11.6	11.6	9.3	
	30代	98	88.8	4.1	4.1	3.1	
	40代	113	93.8	4.4	1.8	0.0	
	50代	88	84.1	8.0	3.4	4.5	
	60代以上	33	90.9	6.1	3.0	0.0	
	男性計	262	87.0	6.9	4.2	1.9	
性別 × 年代	男性計	20代	26	65.4	11.5	11.5	11.5
		30代	57	89.5	3.5	5.3	1.8
		40代	74	91.9	5.4	2.7	0.0
		50代	62	85.5	9.7	3.2	1.6
		60代以上	25	88.0	8.0	4.0	0.0
	女性計	20代	17	70.6	11.8	11.8	5.9
		30代	41	87.8	4.9	2.4	4.9
		40代	39	97.4	2.6	0.0	0.0
		50代	26	80.8	3.8	3.8	11.5
		60代以上	8	100.0	0.0	0.0	0.0

**(18) ペットボトルのラベルは取り外し資源物に分別できるか**

ペットボトルのラベルは取り外し資源物に分別できるかをたずねたところ、「プラ」の表示に従い、すでに取り外して分別している」が48.5%と半数に近い人が分別している。次いで「最近ではラベルがはがしやすくなったので分別できると思う」(29.5%)、「はがしにくいものはそのまま出してしまうと思う」(14.0%)の順となっている。

□ Q18. ペットボトルの出し方について伺います。ペットボトルのラベルは取り外して容器包装プラスチックに分別すると資源物になります。分別できると思いますか。【SA】



性別では、傾向は見られなかった。

年代別では、「プラ」の表示に従い、すでに取り外して分別している」が20代(32.6%)、50代(39.8%)と他の年代より低くなっている。「最近ではラベルがはがしやすくなったので分別できると思う」が20代(41.9%)と他の年代より高い。

「はがしにくいものはそのまま出してしまうと思う」では50代(20.5%)、60代(18.2%)と他の年代より高くなっている。

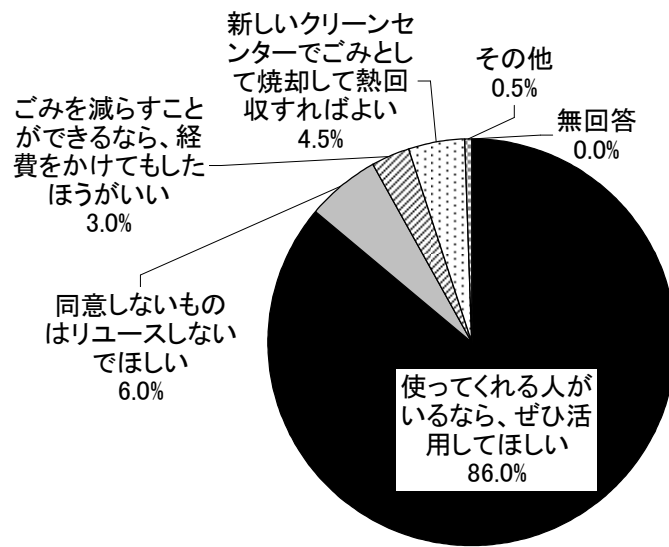
		ペットボトルのラベルは取り外し資源物に分別できるか					
		全体 (実数)	「プラ」の表示に従い、すでに取り外して分別している	最近ではラベルがはがしやすくなったので分別できると思う	はがしにくいものはそのまま出してしまうと思う	面倒くさいので取り外さないで出すと思う	その他
全体 (%)		400	48.5	29.5	14.0	6.3	1.8
性別	男性	262	46.9	27.9	16.0	7.6	1.5
	女性	138	51.4	32.6	10.1	3.6	2.2
年代	20代	43	32.6	41.9	11.6	11.6	2.3
	30代	98	54.1	23.5	12.2	7.1	3.1
	40代	113	57.5	26.5	9.7	6.2	0.0
	50代	88	39.8	35.2	20.5	3.4	1.1
	60代以上	33	57.6	12.1	18.2	6.1	6.1
	男性計	262	46.9	27.9	16.0	7.6	1.5
性別 × 年代	20代	26	38.5	34.6	15.4	11.5	0.0
	30代	57	45.6	24.6	15.8	10.5	3.5
	40代	74	55.4	28.4	8.1	8.1	0.0
	50代	62	41.9	30.6	21.0	4.8	1.6
	60代以上	25	56.0	8.0	24.0	8.0	4.0
	女性計	138	51.4	32.6	10.1	3.6	2.2
	20代	17	23.5	52.9	5.9	11.8	5.9
	30代	41	65.9	22.0	7.3	2.4	2.4
	40代	39	61.5	23.1	12.8	2.6	0.0
	50代	26	34.6	46.2	19.2	0.0	0.0
60代以上	8	62.5	25.0	0.0	0.0	12.5	

**(19) 自分の出した粗大ごみが再使用されることについて**

自分の出した粗大ごみが再使用されることについてたずねたところ、「使ってくれる人がいるなら、ぜひ活用してほしい」が86.0%と最も高く、次いで「同意しないものはリユースしないでほしい」(6.0%)、「新しいクリーンセンターでごみとして焼却して熱回収すればよい」(4.5%)の順となっている。

□ Q19. 粗大ごみの資源化について伺います。机やテーブル、イスなどの木製の粗大ごみは、焼却せずに、修理・清掃して再使用(リユース)したり、燃料に加工してリサイクルすることができます。自分の出した粗大ごみが再使用されることについて、どう思いますか。最も当てはまるもの一つを選んでください [SA]

n=400



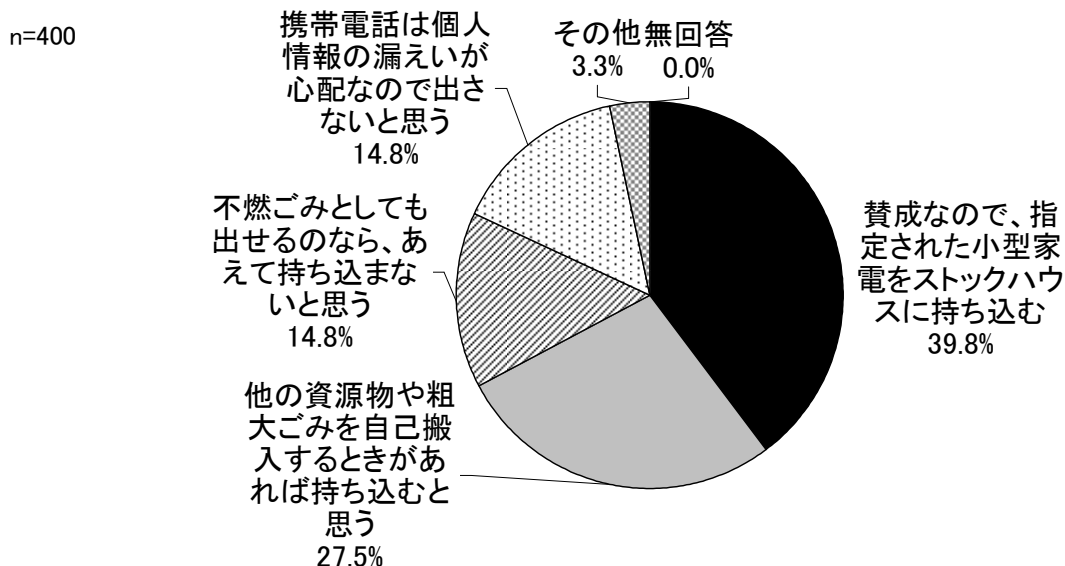
性別・年代別では、傾向は見られなかった。

		自分の出した粗大ごみが再使用されることについて					
		全体 (実数)	使ってくれる人が いるなら、ぜひ活 用してほしい	同意しないものは リユースしないで ほしい	ごみを減らすこと ができるなら、経 費をかけてもした ほうがよい	新しいクリーンセ ンターでごみとし て焼却して熱回収 すればよい	その他
全体		400	86.0	6.0	3.0	4.5	0.5
性別	男性	262	84.4	5.3	3.4	6.1	0.8
	女性	138	89.1	7.2	2.2	1.4	0.0
年代	20代	43	86.0	4.7	4.7	2.3	2.3
	30代	98	84.7	8.2	2.0	5.1	0.0
	40代	113	84.1	8.0	1.8	6.2	0.0
	50代	88	88.6	4.5	3.4	2.3	1.1
	60代以上	33	84.8	3.0	6.1	6.1	0.0
性別× 年代	男性計	262	84.4	5.3	3.4	6.1	0.8
	20代	26	84.6	0.0	7.7	3.8	3.8
	30代	57	82.5	8.8	1.8	7.0	0.0
	40代	74	83.8	5.4	2.7	8.1	0.0
	50代	62	85.5	6.5	3.2	3.2	1.6
	60代以上	25	80.0	4.0	8.0	8.0	0.0
	女性計	138	89.1	7.2	2.2	1.4	0.0
	20代	17	88.2	11.8	0.0	0.0	0.0
	30代	41	87.8	7.3	2.4	2.4	0.0
	40代	39	84.6	12.8	0.0	2.6	0.0
	50代	26	96.2	0.0	3.8	0.0	0.0
60代以上	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

**(20) レアメタル回収のため、小型家電を清掃事業所まで持ち込むことについて**

レアメタル回収のため、小型家電を清掃事業所まで持ち込むことについて たずねたところ、「賛成なので、指定された小型家電をストックハウスに持ち込む」が39.8%と最も高く、次いで「他の資源物や粗大ごみを自己搬入するときにあれば持ち込むと思う」(27.5%)の順となっている。

□ Q20. レアメタルの再生利用について伺います。不燃ごみとして出されている小型家電の中には、レアメタルと呼ばれる希少な金属が多く含まれるものがあります。レアメタルを回収するために、一部の小型家電(携帯電話、ゲーム機など)を清掃事業所のストックハウスまで持ち込んでいただくことについてどう思いますか。 [2LA]



性別では、「携帯情報は個人情報の漏えいが心配なので出さないと思う」で女性が21.7%と10ポイント近く男性より高くなっている。

年代別では、「賛成なので、指定された小型家電をストックハウスに持ち込む」は高齢層ほど高くなっている。「携帯情報は個人情報の漏えいが心配なので出さないと思う」で若年層ほど高くなっている。

		レアメタル回収のため、小型家電を清掃事業所まで持ち込むことについて					
		全体 (実数)	賛成なので、指定された小型家電をストックハウスに持ち込む	他の資源物や粗大ごみを自己搬入するときにあれば持ち込むと思う	不燃ごみとしても出せるのなら、あえて持ち込まないと思う	携帯情報は個人情報の漏えいが心配なので出さないと思う	その他
全体 (%)		400	39.8	27.5	14.8	14.8	3.3
性別	男性	262	42.4	28.2	15.6	11.1	2.7
	女性	138	34.8	26.1	13.0	21.7	4.3
年代	20代	43	30.2	25.6	20.9	18.6	4.7
	30代	98	38.8	31.6	11.2	15.3	3.1
	40代	113	38.9	23.9	18.6	15.0	3.5
	50代	88	43.2	27.3	13.6	13.6	2.3
	60代以上	33	54.5	21.2	9.1	9.1	6.1
性別 × 年代	男性計	262	42.4	28.2	15.6	11.1	2.7
	20代	26	26.9	38.5	26.9	3.8	3.8
	30代	57	42.1	26.3	14.0	17.5	0.0
	40代	74	41.9	25.7	16.2	13.5	2.7
	50代	62	46.8	25.8	16.1	8.1	3.2
	60代以上	25	52.0	24.0	8.0	8.0	8.0
	女性計	138	34.8	26.1	13.0	21.7	4.3
	20代	17	35.3	5.9	11.8	41.2	5.9
	30代	41	34.1	39.0	7.3	12.2	7.3
	40代	39	33.3	20.5	23.1	17.9	5.1
50代	26	34.6	30.8	7.7	26.9	0.0	
60代以上	8	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	